

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

4-IV-5

4-IV-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	民泊や遊休施設活用の推進
節	IV.ホスピタリティの醸成	事業主体	佐渡市観光振興課
事業(施策)名	5 遊休施設活用の推進	関連団体	佐渡地域振興局企画振興部
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	【事業目的】 ○ ピーク時の宿泊施設不足への対応として、遊休施設の活用の推進を図る。 【事業内容】 ○ 島内の遊休施設の所有者と活用方策について協議・検討を進める。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 歴史的資源の活用をはじめ遊休施設の活用のための取組を実施する。		
これまでの取組実績	○ 相川地区の佐州館を学生専用の合宿施設として整備した。 ○ 地元有識者との意見交換を開催した。 ○ 令和2年12月 佐渡市、(一社)佐渡観光交流機構、(株)新潟日報、(株)NOTEの四者により、歴史的資源を活用した地域活性化に関する連携協定を締結した。市内の空き家古民家再生や歴史的資源の活用をはじめ、遊休施設活用に向けた協議・検討を進める体制を構築した。 ○ 相川技能伝承展示館裏にある休眠施設を活用し、地域団体の拠点整備を行った。		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● 遊休施設活用に向けた協議を進める。 【R6年度実績】 ● 京町通りに整備した物件の活用促進。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [A ・ <u>B</u> ・ C] ◇ 新たに稼働した宿泊施設もあり概ね達成している。		
課題	■ 相川観光交流センターについて、条例変更し活用の促進を試みたが効果は薄いと感じる。引き続きニーズの調査等行い満足度向上を図りたい。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。